

◆読解問題◆

→p.83

- 1 (1) 1. No, she hasn't[has not].
2. (She went there) To study English.
(2) 人を本当に理解する(ためには,)会って話す
(べきである。) (3) イ

解説 1 (1) 1. 本文2行目に I have never met Linda とある。2. 本文11行目に she went to Canada to study English とある。
(2) 本文16～17行目に母親のことばがある。
(3) アは本文3, 7行目参照。イは本文4～6行目と一致。ウは本文8～9行目参照。エは本文11～15行目参照。オは本文第4段落参照。

全訳 母にはカナダに友だちがいる。名前はリンダという。彼女たちは何年もの間、よい友だちだ。私は1度もリンダに会ったことはないが、母はしばしば彼女について私に話してくれる。

母とリンダは25年前にお互いに手紙を書き始めた。それらの手紙の中で、彼女たちはたくさんのことについて書いた。ある日、母はリンダから数枚の写真を受け取った。それらはリンダの町にある、山々と湖の美しい写真だった。それらの写真は母を喜ばせた。母は手紙に「あなたの国を訪れてみたい」と書いた。

母が18歳になったとき、母はリンダに電話をかけて、初めて彼女と話をした。電話で英語を話すことは母には難しかった。母はたくさんのことについて話したかったが、あまり話せなかった。リンダは待ち、耳を傾け、母の英語を理解しようとしたが、2人はお互いによく話せなかった。

母は21歳のとき、英語を勉強するためにカナダに行った。カナダで母は、リンダの町で彼女と会った。そのとき母はとてもじょうずにリンダと話ができた。彼女はリンダに「あなたは電話ではあまり話さなかったから、私はあなたはおとなしい女の子だと思っていたわ」と言った。そのときリンダは「あら、私もあなたについて同じことを思っていたわ」と言った。2人はお互いを見てほほえんだ。そのとき彼女たちはお互いを本当に理解した。

母はしばしば私に「恵子、人を本当に理解したいと思ったら、その人に会って話をすべきだわ」と言う。これらのことばを聞くと、私たちは手紙や電話や写真からだけではその人をよく理解することはできないのだと私はいつも思う。

9 現在完了形(3)〈完了・結果〉

◆確認問題◆

→p.85

- 1 (1) just (2) already (3) gone
2 (1) 1. ちょうど[たった今]書いたところです
2. もう書いてしまいました
(2) 1. 行ってしまいました
2. 以前行ったことがあります
3 (1) 1. Ken hasn't[has not] come yet.
2. Has Ken come yet?
(2) 1. They haven't[have not] eaten lunch yet.
2. Have they eaten lunch yet?
4 (1) homework ^ ? (2) have ^ cleaned
(3) book ^ . (4) has ^ finished
5 (1) ア (2) イ (3) ウ (4) ア
(5) イ

- 解説** 1 (1) 「ちょうど」は just。
(2) 「もう、すでに」は already。
(3) 「～へ行ってしまった」は have[has] gone to ～。
2 (1) just 「ちょうど」と already 「もう、すでに」の違いに注意する。
(2) have[has] gone to ～ = 「～へ行ってしまった」、have[has] been to ～ = 「～へ行ったことがある」
3 already は、否定文・疑問文では yet にかわる。否定文で「まだ」、疑問文で「もう」の意味になる。
4 (1)(3) yet は文尾に置く。
(2) already は have[has] と過去分詞の間に置く。
(4) just は have[has] と過去分詞の間に置く。
5 (2) yesterday が since を伴わないので過去の文。
(4) 疑問詞 when は現在完了形の文では用いない。
(5) just now は過去を表す語句。